

助成金情報

Subsidy

第8回 日本児童家庭文化協会北川奨励賞

○財団法人 日本児童家庭文化協会○

難病児とその家族への支援活動に取り組む団体・個人を助成します。  
「地域で必要とされている草の根的な活動を実施しているグループが継続的に活動に取り組むことができるように」という目的で、北川淳治ソラン株式会社社長によって、平成 11 年度に「北川奨励賞」が創設されました。

■対象

難病や障害を持つ子どもとその家族への社会医学的な実践、セルフヘルプ活動、またはボランティア活動に取り組む団体または個人

■助成金対象の範囲

1. 活動に関わる運営費用
2. 会主催の講演会・研修会・イベント開催費用
3. その他、難病や障害を持つ子どもとその家族の支援に関する活動費用

■助成金額

1 件 50 万円まで【総額 200 万円】(申請内容により贈呈金額を決定)

■応募締切

平成 19 年 1 月 19 日(金)必着

■応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ提出してください。  
活動の実績がわかる資料・会報等がある場合は添付してください。  
※応募用紙は、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、ハガキ・FAX・Eメールのいずれかで下記にご請求ください。

■申し込み・問い合わせ

財団法人 日本児童家庭文化協会  
〒104-0045 東京都中央区築地 3-14-5 アカデミープラザビル  
[TEL] 03-5565-3681 [FAX] 03-5565-3682  
[E-mail] info@kidsfirst.or.jp  
[Wed] <http://www.kidsfirst.jp/foundation/topics/index.php#kitagawa/>

【ボランティアみさと】は、こちらで入手できます。

三郷市ボランティアセンター、市内公共施設のほか……

- |            |   |
|------------|---|
| 三郷駅周辺      | みさと書房(三郷市三郷 1-1-10)、みさと書房北口店(三郷市早稲田 2-2-6)<br>亀有信用金庫三郷駅前支店(三郷市三郷 2-20-1)                                  |
| 幸房・谷中・谷口周辺 | 特別養護老人ホーム小鳩園(三郷市幸房 680)、三郷郵便局(三郷市谷中 14-9)<br>亀有信用金庫早稲田支店(三郷市谷口 631-3)                                     |
| 新和・栄周辺     | 特定非営利活動法人ひまわりの家(三郷市新和 4-562-3)、工房風のうた(三郷市新和 4-601)<br>ひつじくも舎(三郷市新和 4-205)、埼玉みさと総合リハビリテーション病院(三郷市新和 5-207) |
| 南蓮沼・さつき平周辺 | 介護老人保健施設三郷ケアセンター(三郷市南蓮沼 260-2)  |
| 天神周辺       | イトーヨーカドー三郷店(三郷市天神 2-22)   |
| 田中新田周辺     | コミュニティスペース・パーソナルサポート青いそら(三郷市田中新田 375-18)  |
| 鷹野周辺       | ブックスたかの(三郷市鷹野 3-14)   |
| 戸ヶ崎周辺      | 在宅介護支援センターみさと南(三郷市戸ヶ崎 1-568-1)<br>亀有信用金庫三郷支店(三郷市戸ヶ崎 2-285)、三郷前谷支店(三郷市戸ヶ崎 3-116-2)                         |
| 高州周辺       | 亀有信用金庫高州支店(三郷市高州 1-291-1)   |

# Volunteer

## ボランティアみさと

# Misato



<http://www.misato-syakyo.or.jp/vc/>

Contents

ボランティアセンターレポート	2
病院ボランティア ～埼玉みさと総合リハビリテーション病院～	
助成金情報	4



【発行】 三郷市ボランティアセンター(三郷市社会福祉協議会内)  
〒341-0041 埼玉県三郷市花和田 638-1 三郷市健康福祉会館 5 階  
【Tel】 048-953-4191 【Fax】 048-953-4192  
【E-mail】 [mvc@misato-syakyo.or.jp](mailto:mvc@misato-syakyo.or.jp) 【Web】 <http://www.misato-syakyo.or.jp/vc/>  
【開所時間】 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分(月～金曜日)

ボランティアセンターレポート

VC Report

病院ボランティア ～「幸せ・満足に貢献する病院」を目指して～

○医療法人三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院○

脳血管疾患を主としたリハビリテーション専門病院の埼玉みさと総合リハビリテーション病院（埼玉県三郷市新和5-207）に、病院ボランティアへの取り組みについて、お話を伺いました。

Q1. どうして病院の中にボランティアを受け入れようと思ったのですか？

脳血管障害、脳神経疾患、整形外科の手術後などの患者様にとって早期のリハビリテーションが将来の生活の質に大きく影響します。

そのため、当病院は患者様が早期に社会復帰すること、つまり住み慣れた地域、自宅での質の高い生活を維持するために、回復期リハビリを中心に医療・看護などのサービスの提供を使命としています。

しかし、こうした医療、看護、リハビリなどの専門的なサービスだけではなく、ボランティアの方々との温かなふれあいもとても大切です。ボランティアの方々との交流することで、患者様の日々のストレス緩和や生活に張りを持っていただくことになり、病院内で快適に過ごすことができます。それが、ひいては病院内での生活の質の向上にもつながります。これらのことを踏まえ、ボランティアの方々の参加を呼びかけることにしました。

Q2. その後、ボランティアの受け入れ体制の仕組みをどのように作りあげていきましたか？

平成17年1月に、各職種からのメンバー構成によりボランティア委員会を立ち上げました。委員の中で、公演ボランティア担当、継続ボランティア担当に分かれ、ボランティア受け入れ体制などを話し合ってきました。

それぞれの話し合った内容などを毎月1回のボランティア委員会にて報告しています。

それ以外に社協の方のアドバイスや、すでに受け入れている病院のシステムについて研究したり、ボランティアアマネジメント研修への参加、またそれらの研修資料を参考に、ボランティア受け入れの準備をすすめていきました。

Q3. みなさんへメッセージを

リハビリ病院の患者様は障害をもって日々のリハビリに励んでいます。

そんな日々の中で、ボランティアの方とのふれあいは痛みを和らげ心が和らぐひとときです。数時間、数分の笑顔で患者様たちも前向きな気持ちやリハビリに対する意欲がわいてきます。

「かけがえのない存在」として病院のチームの一員となり、患者様の手助けをしてみませんか？

ぜひ、ボランティアへの参加をお待ちしております。



☆病院では、こんなボランティアを募集しています☆

日時 / 活動内容	《団体（公演）》演奏や踊りなどの演芸（時間は相談のうえ決めましょう） 《個人（継続）》話し相手、散歩、レクリエーションの準備手伝いや参加、入浴後のドライヤーなど （時間：①9：30～11：30 ②14：00～16：00） ※週に1回以上、月に3～4回の活動 曜日、時間（上記以外の）は相談のうえ決めましょう。
場 所	埼玉みさと総合リハビリテーション病院（埼玉県三郷市新和5-207）
参 加 対 象	高校生以上
そ の 他	動きやすい服装で来てください。 事前オリエンテーションがあります。
申 し 込 み	埼玉みさと総合リハビリテーション病院 担当：梅澤（ウメザワ）・岩井（イワイ） [TEL] 048-953-1211 [FAX] 048-952-0127 [URL] <a href="http://www.ims.gr.jp/saitama_misato/">http://www.ims.gr.jp/saitama_misato/</a>

♪こんな活動がおこなわれています♪

ボランティアグループ「MYU」

ボランティアグループ「MYU（ミュウ）」は、2ヶ月に1回大正琴の演奏を病院内で披露しています。

この日は、12曲を演奏し、利用者のかたは歌本（歌詞などが掲載されています）を見ながら、メロディにあわせて歌っていました。

全曲が終わった後、アンコールもあり利用者のかたからは「最高!」「がんばって～!」「楽しい」などの声があがり、大変盛り上がっていました。

「MYU（ミュウ）」代表の植野さんは、「みなさん喜んでくれるので、やりがいがあります。また、楽しみに待っていてくださるので、励みになります」と話していました。



高校2年生の須藤君にお話を伺いました

Q1. ボランティア活動をした動機は？

介護の仕事につきたいと思っているので、将来の役に立つかなと思い、活動を始めました。

Q2. どんな活動をしていますか？

月2回（1回2時間）活動をしています。活動内容は、食器を片付けたり、入浴後に髪を乾かししたり、お話をしたりしています。

Q3. 活動をはじめてどうですか？

最初はとても緊張しましたが、職員の方がやさしくしてくれたので安心して活動を始めることができました。わからないことがあっても、この人に聞けばいいという職員の方がいるので、活動しやすいです。

祖父母と一緒に住んでいますが、高齢者に関して知らないことがたくさんあって、すごく勉強になっています。また、ふれあっている時間がとても楽しいです。

Q4. どんなことが一番印象に残っていますか？

患者さんの中で話せない人がいるんですが、車いすで部屋に送っていったとき、文字盤を押すと音がでるものを使い、「ありがとう」と打ってくれました。これには、とても感動し、「もっとやっていたい!」と思いました。

